

平成27年度 主な事業の要求・査定状況

※主な事業とは、市が実施しようとする新規事業・投資的経費等を中心に抜粋したもので、市が行う全ての事業を掲載したものではありません。

消防局

(単位:千円)

担当課	事項	要求額	要求内容	査定額	査定理由
総務課	救急救命士養成事業	3,942	救急救命体制の充実を図るため、救急救命士の追加養成を行う。	3,942	A
総務課	消防庁舎整備事業	32,734	消防局庁舎3階フロア改修、防災センター備蓄倉庫屋根等の消防庁舎の整備を行う。	0	E
総務課	消防団装備の充実	5,797	消防団の活動の充実を図るために必要な情報通信資機材を計画的に配備する。	4,000	C
総務課	消防団貸与被服に要する経費	6,624	消防団員の災害現場等での活動時の安全を確保するため、要望の多い雨衣、編上靴等を追加で貸与する。	6,414	B
消防課	ポンプ格納庫の新築工事	22,687	消防団の活動の充実を図るため、消防団施設の防災拠点となるポンプ格納庫の新築を行う。	0	E
消防課	サイレン等取付塔新設工事	4,321	消防団の活動の充実を図るため、消防団施設の各拠点ごとに建てられたサイレン等取付塔の撤去及び新設工事を行う。	0	E
消防課	ポンプ格納庫施設改修	4,820	消防団の活動の充実を図るため、消防団施設の防災拠点となるポンプ格納庫の施設改修を行う。	2,300	D
消防課	防火水槽撤去	5,792	既存の公設防火水槽の撤去を行う。	4,500	B
消防課	消火栓整備事業	9,000	火災発生時において消防活動に必要な水利を確保するため、消火栓の新設等の整備を行う。	9,000	A
消防課	消防車両整備事業(補助金対象事業)	100,000	長期の使用により機能低下した緊急消防援助隊の登録車両である救助工作車Ⅱ型の更新配備を行う。	100,000	A
消防課	消防車両整備事業	31,495	長期の使用により機能低下した高規格救急自動車等の更新配備を行う。	29,000	D
消防課	はしご付消防自動車オーバーホール	38,000	消防活動現場においてはしご車の最大限の機能、性能を発揮出来るようにオーバーホール(分解整備)を実施する。	0	E
消防課	消防団用小型動力ポンプの更新	5,250	各種災害に対して迅速な対応ができる体制を整えるため、長期の使用により機能低下した消防団の小型動力ポンプの更新配備を行う。	5,100	B
救急課	ドクターカー運用経費	12,786	医師が救急現場に出動し、早期医療行為を実施することにより、容体の悪化防止及び予後の改善を図るため、ドクターカーの運用を行う。	12,780	B
指令課	消防救急デジタル無線保守・点検経費	22,153	消防救急の通信の要である消防救急デジタル無線システムの保守、点検等を行う。	15,000	B
指令課	奈良市・生駒市高機能消防指令センター整備事業	786,260	広域的災害体制の強化と、整備・運用コストの削減の観点から、奈良市と生駒市が共同で高機能消防指令センターを整備する。	786,260	A

査定理由 A: 要求どおり全額を認めているもの

B: 単価・数量・金額を精査し、所要額を予算措置したもの

C: 実施方法の変更や内容の見直しを行い、所要額を予算措置したもの

D: 優先順位をつけ、一部もしくは全部を次年度以降に先送りしたもの

E: 実施時期・事業効果の検討等、内容調整が必要と判断したもの

F: 国の補正予算を活用して、一部もしくは全部を平成26年度に前倒ししたもの